

第47回司法制度研究集会へのお誘い

47回目を迎える司法制度研究集会では、本年5月24日に成立した「改正」刑訴法・盗聴法の内容の危険性を暴くとともに、法律家団体と市民が協働しながら反対運動を展開してきた成果を共有したいと考えています。

また、一昨年に施行された特定秘密保護法、「改正」刑訴法・盗聴法、そして、来年通常国会への上程が取り沙汰される共謀罪等が総体としてもたらずであろう監視社会・治安国家への対応には、「改憲」反対のすべての運動の結集が急務であると考えます。

「改憲」に向けた現政権の謀略に対峙していくための法律家運動の課題を模索するとともに、法律家運動の果たすべき役割を改めて確認し、市民とともに、大きな国民的運動を展開する決意を誓い合う司法制度研究集会になるよう、皆さまのご参加をお待ちしています。

2016年10月

第47回司法制度研究集会実行委員会
日本民主法律家協会司法制度委員会

◆参考◆ いままでの動き

- 2014年12月20日施行、特定秘密の保護に関する法律（2015年9月19日成立、戦争法）
- 2016年5月24日成立、刑事訴訟法等の一部を改正する法律
- 2017年1月、通常国会への提出が危ぶまれる「共謀罪」法案

プログラム

受付開始 13:00
開会 13:30

■主催者挨拶 森 英樹 日本民主法律家協会理事長

■報告その(Ⅰ) 13:50～14:30

刑訴法『改悪』阻止の闘いと今後
小池振一郎 弁護士

■報告その(Ⅱ) 14:30～15:10

盗聴法・共謀罪の本質(仮題)
海渡雄一 弁護士

————— 休憩 —————

■報告その(Ⅲ) 15:20～16:00

秘密保護法、盗聴法・刑訴法、
共謀罪と治安国家・監視社会化(仮題)
白取祐司 神奈川大学法科大学院教授

————— 休憩 —————

■質疑応答・会場発言・追加発言 16:10～17:10

■総括 戒能通厚 司法制度委員会委員長

17:20 閉会

◆集会終了後 懇親会を開催します◆

場 所 同一会場地下1階レストラン・ペルランにて
参加費 4000円